

## 10月のお代官様～徳島大人の遠足

体育の日の連休に、門真市青年協会・観光達人と行く徳島ツアー第3弾を開催しました。

皆さんにお配りした案内は、「徳島、お好きですか？阿波踊り、すだち、うずしおに池田高校やまびこ打線、眉山、ウエルかめ、かずら橋、藍染、発光ダイオードに半田そうめん。10項目、どれだけ知っていますか？全部なら徳島通、半分だったら普通の人、それ以下は人にあらず・・なんて言わんと、そなえなメジャー(?)な部分は置いて、今回は観光達人が教える本気のTOKUSHIMAです。」



「初日は門真から石井町の「うどんのふじい」でプリンセスと合流、四国最東端の蒲生田岬を見学、かもだ岬温泉で汗を流します。露天風呂から紀伊水道を一望、続いて対岸の椿泊(つばきどまり)に向かいます。椿泊は、阿波水軍の隠れ家で海からも陸からも進入するのが困難な場所で、クルマも無傷で帰ってこれるかわからない狭道なので、椿漁港にクルマを置いて、水軍の末裔に「ゆきや荘」まで連れてって貰いましょう。10月は、海のもの最も美味しい時期ゆえ、伊勢海老やアワビ、サザエなどが用意できるそうですから、料理も通常コースからグレードアップして、本気のTOKUSHIMAの海の幸を味わってもらいたいと思っています。とれとれの活造り、塩焼き、煮付け、天麩羅に伊勢海老のお味噌汁など、旬のお魚でお腹に夢を届けます。」

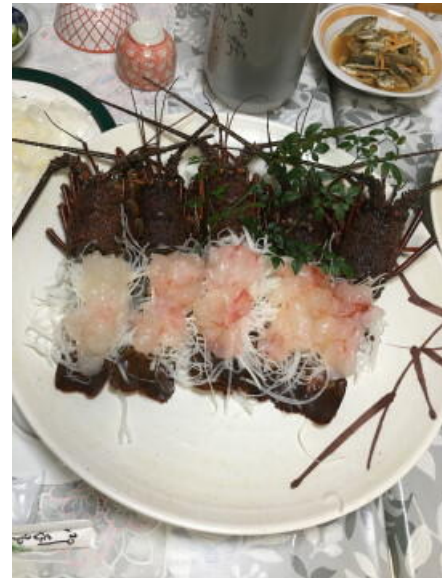




自信满满ですが、豪勢な饗宴で、実際のメニューは、鯛・アコウ・カンパチ・イサキ・イカ・アワビ・伊勢海老のお刺身から、焼き物は伊勢海老・サザエ・イサキ、煮物は馬面ハゲ、小エビの蒸し物、揚げ物は車エビ・アジ・鳴門金時・淡路玉ねぎ、小鯨の南蛮漬けに、ワカメと胡瓜の酢の物、伊勢海老のお味噌汁というラインナップで、お腹いっぱい。







伊勢海老のお刺身はぷりっぷりだし、アコウのお刺身も脂がのってうまい、馬面ハゲの煮物は骨まで愛して、総勢8名の参加者は大いに満足。本気のTOKUSHIMAを味わっていただけただけなことでしょう。



「楽日は、太龍寺に向かいます。かつては遍路ころがしと呼ばれ、難所として君臨してきたこのお寺も道の駅『鷺の里』からロープウェイでひとつ飛びです。全長2.8kmの空の旅をお楽しみ下さい。もし、帰路を急ぐ方が居れば、途中JR桑野駅を経由しますので、列車と高速バスでお帰り下さい。太龍寺から降りて、阿南のニャンコの神様、お松大権現にお詣りして、道の駅『公方の郷ながかわ』で休憩、夜はお魚食堂「弘伸丸」か、徳島ラーメンなど皆さんのご希望に沿うよう考えたいと思っています。さてさて、今回はどんなツアーになるのやら、本気のTOKUSHIMA味わって下さい。」

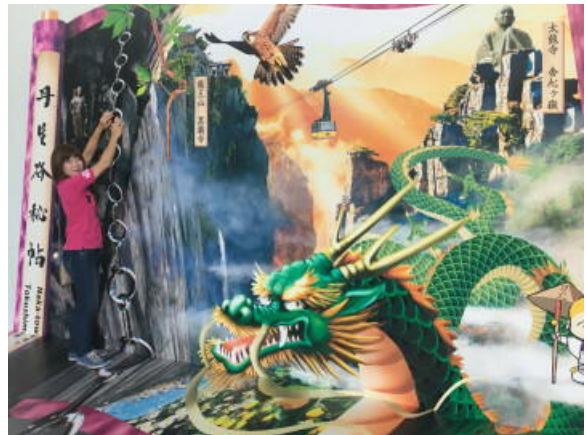


椿泊の街並みを散策、和の朝食。アジの干物が美味しくて、5匹も食べてしまいました。しかも、手土産に干物いただいてごちそうさまでした。

四国88か所を初めて回ったのは30年前、細くて険しい山道をドキドキしながら運転して暗い山の中の駐車場に車を置いて、遍路ころがしと言うか、山道を半時間程登った先にあったのが太龍寺で、徳島県では、焼山寺・鶴林寺と合わせて難所トップ3と記憶しています。今はロープウェイで、那賀川と山を2つ越えてゴキゲ〜ンです。







続いてお松大権現、公方の郷なかがわでお土産買って、当初スケジュールから行程を変更して、八万町のラーメン東大でランチタイム。醤油味の濃いスープにチャーシュー代わりのお肉、生卵を割って、「まいう〜！」今回のツアーでは、ここが一番メジャーな場所だったかも知れませんね。







最後は、小松島のレディも合流して、府中(コウ)のプリンセスプロデュースで、藍住町で、徳島の伝統工芸の藍染体験。入場して、白いバンダナ・タオルやTシャツなど買ってインディゴブルーの藍汁にドボン。優しい指導員のお姉さんの言うこと聞いて、みんなで徳島色に染まってみました。プリンセスは、皆さんのスマホを手に写真撮影。身体を張って皆さんをご案内いただきました。(2日間歩き過ぎて、心は元気でしたが、足に疲労がたまって、通路で転倒。腕に藍染じゃなくて、青あざが・・・ほんま、引っ張りまわしてごめんね。こんな楽しいツアーになったのプリンセスのおかげと、皆さん感謝してますよ。)自分で染めた藍染の作品をお土産にして、お遍路さんの御朱印体験を兼ねて井戸寺へ。八仙閣というプリンセス行きつけの中華のお店でお食事して、大団円。お世話になった徳島組とお別れして、大鳴門・明石海峡を渡って、現実の世界へと戻りました。





今年の大人の遠足は、いかがでした？来年も行く？



平成30年10月10日記

[トップ](#)  
[戻る](#)

[11月のお代官様～歌えない](#)